

あおば

発行: おぐに荘保護者会

新潟県長岡市小国町新町 852-4

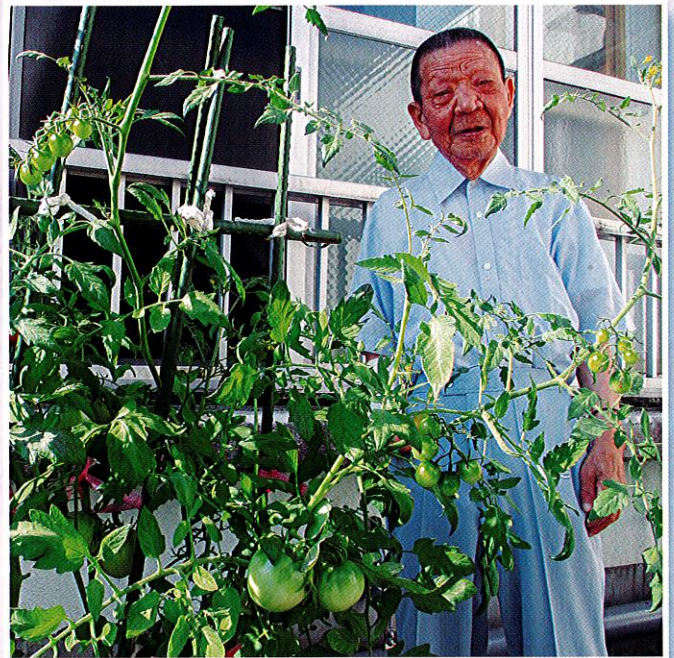
救護施設 おぐに荘

TEL 0258-95-3400

FAX 0258-95-3451

ホームページ <https://www.kashikari-fukushi.com>

第42号



SAFETY NET

保護者会より

保護者会の皆様へ

保護者会 会長
中村 優

保護者会の皆様におかれましては、日頃よりご協力をいただき御礼申し上げます。

この度新しく保護者会の会長に就任致しました中村と申します。

おぐに荘の役員に任命されて以来、それまで疎遠でありましたが、おぐに荘の活動に参加させていただきながら、施設入所者の皆様の笑顔と職員の皆様の温かいご指導を身近で拝見させてもらい有難く感じている次第です。

ここ三年は新型コロナウイルスの拡大の為感染症予防の観点から各種行事はもとより個別面会等もままならず、保護者の皆様方にはご心配をお掛け致しましたが、やっと保護者会総会を執り行える状況となり胸を安堵致しております。

少しずつですが、以前の様な各種行事を行える状況を取り戻せるような気がしておりますので、その節はご協力宜しく願います。

保護者会での活動や行事を一番

待ち望んでいるのは入所者の皆様だと思います。

ボランティアの方々のご協力の元で活気ある生活のスタイルが一日でも早く到来し、以前の様な笑顔で一同に集まれる事を願うばかりです。

おぐに荘の入所者の皆様も保護者の皆様方も高齢化により年々来園が難しくなっておられることと申します。入所者の人数も年々減少する傾向が顕著のようで不安視されている方々も多いかと思われ、施設長様始め職員の皆様方の温かいご協力のもとで今後も保護者会の運営には一層のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

是非各種行事のりには少しでも多くの皆様からのご参加とご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

本年度、一年間宜しくお願い致します。



理事長挨拶

優しく・思いやりの

心を大切に



理事長
政金 克芳

社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会理事長の政金です。

おぐに荘保護者会及び関係者の皆様には、日頃からおぐに荘の運営に多大なる御理解、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、利用者の方々の生活や各種行事、保護者会の活動などに一定の制限をかけており、大変申し訳なく思っております。5月8日からは感染症法上の分類が5類に引き下げられるなど、収束の兆しも見え始めており、平常の生活に戻る日も間近なのではと期待しているところです。

さて、3月に行われたワールドベースボールクラシックでは、大谷翔平選手をはじめとする日本代表選手の素晴らしい活躍により、見事優勝を飾りました。コロナ禍で重苦しい雰囲気だった日本中を沸き立たせ、元氣と勇気を与えて

くれた明るい話題だったと思います。

また、この大会では、勝敗とは別に相手を思いやる日本選手の間が賞賛されました。試合終了時には、脱帽し深々とお辞儀をして相手選手への敬愛の念を表現するとともに、試合後の会見時にも必ず相手チームのことを認め尊重する発言をしていました。海外のメディアからも、「日本人のすばらしいところ」は、「お互いを尊敬、リスペクトしているところである」と紹介されています。

このような行動・言動は社会人として非常に重要なことであり、当法人職員も、常に相手の身になって考える優しさや思いやりの心を持って日頃の業務を行ってまいります。今後も利用者の皆様の人格と尊厳を守り、安心安全な生活と良質なサービス提供に努めてまいりますので、よろしく願います。

末筆となりますが、おぐに荘保護者会の御発展を御祈念申し上げますとともに、引き続き、おぐに荘の運営に御理解、御協力をお願い申し上げます。

施設長挨拶

今後の取り組みについて

施設長
遠藤 和哉

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、日頃よりおぐに荘の運営にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対応につきましましては、国内で初めて感染が確認された令和2年から3年が経過し、感染法上の位置づけが2類から5類へ引き下げられたことから、大きな節目を迎えています。

このような状況を踏まえて、法人としての対応が変わりましたので、施設においても、対応の見直しを行っています。

このように、新型コロナウイルス感染症の対応につきましましては、新たな局面を迎えているところで、利用者の高齢化、病弱化が進んでいることや、感染が拡大しやすい構造・設備面の課題もありますので、引き続き感染症対策の一部を継続しながら対応する必要があります。

があると考えております。

次に、今年度の施設での取り組みについて紹介します。最初に利用者の高齢化、病弱化への対策として、管理栄養士による食生活や栄養への理解を深めることを目的とした、栄養教育を行うことになっています。

次に、利用者の「想い」や「困っていること」等を聞き取り、寄り添うことができるように、生活指導員を中心に、相談面接の充実に向けた取り組みを行います。

この他にも、感染症や自然災害の対応の充実、救護施設個別支援計画の制度化を見据えた、人材育成も視野に入れた取り組みなどを行うことになっています。

さて、今年度の保護者会の活動・行事についてですが、理事会は4月に、総会は5月に開催することができました。久しぶりに皆様と顔を合わせることができて、大変喜んでおります。

今年度も、保護者の皆様をはじめ、関係機関の皆様、よろしくお願いたします。

評議員挨拶

おぐに荘の懐かしき想い

法人評議員
岩野 守男

小国の小栗山出身で令和三年六月から評議員に就いています「岩野」と申します。

私は、今から四十年近く前の三十歳の時に行政職に異動となり、初めての配属先として生活保護や高齢者福祉等の担当になりました。月に二〜三回、県福祉事務所の職員に同行して世帯訪問があつて、社会のセーフティネットである生保の厳しさを目の当たりにしました。まだ多くの偏見のある時代でもあり、おぐに荘には町内の出身世帯や本人に直接の訪問もあり、今でも顔見知りの入所者は多数おられます。

当時の初代、佐藤園長さんはいつもニコニコと笑顔絶やせず優しい眼差しで入所者に接する方でした。一人ひとりに寄り添い人権を尊重される愛情あふれるもので福祉の職員として大切なものを教えて頂いたと思っています。ノーマライゼーションの考え方が盛んに唱えられる時代でもあつたと思います。年

に何回か交流イベントがあり、当時はカラオケがとても人気がありました。私も体育館のステージで歌った記憶があります。皆さんから笑顔で大きな拍手を頂くことが照れ臭くまた嬉しくもあつたように記憶しています。今は亡き民謡歌手の原田英昌さんが遠路、毎年慰問に訪れていたことは、誰にも真似のできない素晴らしいことだったと改めて感心しています。また、人権擁護委員として、その啓発活動で夏の盆踊りにも何度もお邪魔しました。浴衣を着て地域の人たちと嬉しそうな入所者を見ると地域の皆さんとの触れ合いはとても大切だと思つたものです。

小国中学校の少し高台の丘に立地し、集落から離れたコンクリート平屋建ての外観は時間の経過とともに救護施設の置かれてきた状況を表しているようにも思います。

現在は、年金制度の充実や一人ひとりの多様性を重んじる社会となり待機者は減少しています。更に入所者の高齢化も生活から介護へと課題となつてきています。八年後には半世紀を迎える小国地域で最初の福祉施設でもある「おぐに荘」は大きな岐路に立っていると云えます。この様な過渡期に私自身も評議員をさせて頂いていることを懐かしくも深い縁を感じています。

8月

夏祭り



おぐに荘恒例の夏祭り！
利用者や職員が
食堂で盆踊りをしているところです。
音楽に合わせて上手に踊れました。

12月

クリスマス会・忘年会



サンタクロースに扮した園長から
プレゼントをもらいました♪
記念撮影も☆

1月

新春お楽しみ会

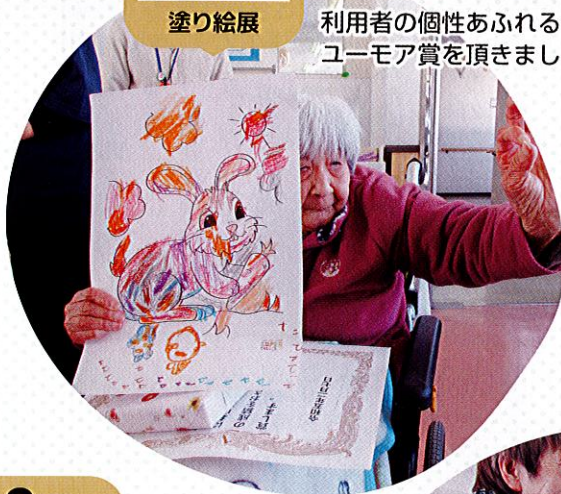


余興の合間に
躍動感のある獅子舞が登場し、
会場を賑わせました。

2月

塗り絵展

利用者の個性あふれる作品で
ユーモア賞を頂きました。



3月

おやつバイキング



利用者より抹茶プリン・イチゴのトライフル・
ティラミスの3つの中から
食べたい物を選んで食べてもらいました。

2月

節分



鬼は外〜！
福は内〜！

年男と年女の利用者・職員の方に
豆まきをしてもらいました。

おぐに荘では四季を感じてもらえるよう、季節ごとに行事を企画しています。利用者の方々は毎月の行事を楽しみにしており、生きがいにもなっています。また、職員も利用者と一緒にふれあうことができ、共に生きていくと感ぜられるような工夫を凝らしています。

令和4年度 おぐに荘行事



4月
花見



キレイに咲いた八重桜の前で
記念撮影♪

5月
適温給食



適温給食にて美味しい
醤油ラーメンと
餃子(もしくは杏仁フルーツ)を
食べました。

6月
笹団子作り

利用者と職員が
食のイベントで
笹団子づくりを
している所です。



7・9月
日帰り旅行



令和4年度は利用者の日帰り旅行という形で
近隣地域周辺にドライブに行ったり、
外食をして普段とは違った雰囲気
で食事を楽しんだりしました。

7月
カラオケ祭り



自慢の歌声を
披露してもらいました。

【おぐに荘地域貢献の取り組み】



グリーンカーテン

毎年恒例となっている中庭のグリーンカーテン。昨年も利用者の皆さんが集まる食堂の窓に合わせてゴーヤを植えました。夏になると、食堂は西日が強く入り、かなり室温が高くなりますが、グリーンカーテンが日差しを遮ってくれています。

食堂内の様子も写真にのせました。食堂の中から見るグリーンカーテンも素敵です。日差しが和らいで過ごしやすくなっており、食堂で行なわれた行事も和やかな雰囲気になりました。これからもエコ活動の一環として、グリーンカーテンの取り組みを続けていきたいと思ひます。



おぐにかかしまつり

毎年、8月に小国のせせらぎ公園で開催されている『おぐにかかしまつり』に、私達おぐに荘も参加させていただいています。昨年度は、某有名アニメキャラクターを模したかかしを作り、出展させていただきました。利用者の皆様も楽しみにされており、数名の利用者の方々は職員と一緒にかかし作りに取り組んで下さいました。今年も、昨年度以上に皆様に親しまれるかかしを作りたいと考えていますので、ぜひ小国町まで見にいらしてください。



古切手収集

昨年度も、多方面から頂いた手紙に使われていた古切手を収集し、社会福祉協議会へ寄贈させていただきました。古切手を切り取る作業は、おぐに荘の利用者や通所利用者の皆さんからも協力をして頂きながら活動を進めています。切手も様々な種類があり、興味を惹きますね。最近では電子メール等の普及により、紙でのやり取りが減ってきました。切手を見かける機会も少なくなりましたが、これからも楽しみながら少しずつ取り組んでいけたらと思っています。



令和4年度 保護者会活動内容



● 保護者会総会、花見会

(実施見合わせ、書面決議)

● 保護者会協力活動

(実施見合わせ)

● ふれあいまつり

(実施見合わせ)

● 保護者会理事会

(実施見合わせ、書面決議)

● 会計監査

(令和5年4月7日実施)

新任職員 紹介

今年度は1名の職員がおぐに荘のスタッフに加わりました。
5つの質問でご紹介します。

質問 項目

- ① 趣味・特技を教えてください。
- ② 子供の頃の夢は何ですか。
- ③ 尊敬する人を教えてください。
- ④ どんな願いも1つだけ叶えてくれる魔法があったら、何を願いますか。
- ⑤ この会報を見ている皆様へ、一言お願いします。



【介護員】大澤 多美子

- ① メダカの飼育。昨年は、たくさん天国に行ってしまいました。
- ② 漫画家。
- ③ 大谷翔平選手。
- ④ 体力、財力、語学力を得て、世界各地を巡ってみたいです。
- ⑤ 2年ぶりに、おぐに荘へ戻ってきました。よろしく願い致します。

転出職員

救護施設かしわ荘

- ・若月 光江 (介護員)
- ・菅沼 克之 (介護員)

特別養護老人ホームなごみ荘

- ・須田 杏菜 (管理栄養士)

退職

- ・品田 恵子 (パート介護員)



社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会



経営理念 私たちは、地域の福祉事業の主たる担い手として、利用者の尊厳を守り、万全の福祉サービスを提供するとともに健全経営に努めます。

- 基本方針
- ① 入所者・利用者の人格と尊厳を守り、安心・安全な生活と良質なサービスの提供に努めます。
 - ② 透明性を確保し、健全経営に努めます。
 - ③ 福祉人材を育成し、働きやすく魅力ある職場づくりに努めます。
 - ④ 福祉のセーフティネットとしての役割を果たし、社会的弱者の支援に努めます。
 - ⑤ 福祉文化の創造を目指して地域・社会に貢献します。





瀧澤 和子 様
 おぐに荘保護者会
 久保 光枝 様
 櫻井 順子 様

寄贈者一覧

小国理容組合 様
 小国中学校 様
 (二財)信越郵便局長協会 様
 入沢 和文 様
 億 節子 様

ボランティア

皆様の善意に
 感謝します
 順不同

ボランティア募集の一部再開のお知らせ

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティアの募集を中断していましたが、募集を再開致します。屋外での活動や、利用者様と接しない活動となりますが、興味のある方はご連絡下さい。

連絡: 救護施設おぐに荘
 TEL 0258-95-3400

編集後記

新型コロナウイルスもそろそろ終息に向かい、通常の生活が見えてきました。

おぐに荘も、イベントや利用者様の活動を以前に近いものができるように、準備を始めています。まだ油断はできませんが、楽しく過ごせるおぐに荘を取り戻せるように、職員一同努力してまいります。



車椅子貸出

柏崎刈羽福祉事業では、地域の皆様やご家族の皆様へ車椅子の無料貸出を行っています。貸し出しを希望される方、詳細を知りたい方は、おぐに荘までご連絡下さい。



苦情相談について

救護施設おぐに荘では、提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。

ご意見、ご要望、苦情等がありましたら、遠慮なく苦情受付担当者、第三者委員にご相談下さい。

誠意を持って話し合いを行い、解決、改善に努めます。

- 苦情解決担当者 遠藤 和哉 (おぐに荘 園長)
- 苦情受付担当者 松井 夏子 (おぐに荘 次長)
- 第三者委員
 小野塚正之 電話 0257-24-0469
 宮田知津子 電話 0257-24-5522
 砂塚 一美 電話 0257-27-3159

苦情相談の申し出

苦情担当者、第三者委員に直接お話し下さい。

また、電話、書面、面談でも受け付けます。

電話 0258-95-3400

苦情受付窓口は、おぐに荘事務室に設置しています。苦情の受付に際し、プライバシーについては、十分に配慮致します。